

2021/10/25

東アジア資金部 ソウル室 +82-2-3782-6859

先週のマーケット動向(10月18日～10月22日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,183.0	1,188.0	1,172.3	1,177.1	▲5.3
JPY/KRW	10.3472	10.3933	10.2356	10.3273	▲0.039
KOSPI	3,017.48	3,047.24	2,990.44	3,006.16	▲8.90

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場はやや上値の重い展開。18日は1,183.0ウォンでオープン。米長期金利の上昇圧力や資源価格の高騰を受けたドル買いに加え、中国3Q GDPが予想よりも弱かったことを背景にアジア株全般が下落する中、ドル/ウォンは週高値1,188.0まで上昇した。しかし、19日にはデフォルト懸念のあった中国不動産企業が無事に利払いを完了したとの報道を受け人民元高になるとウォン買いも進み、節目の1,180を下抜け。さらに20日も同様の流れからドル/ウォンは1,172.3まで下落した。20日海外時間には米2年国債の入札が低調に終わったことや米ページブックで「多くの地域で物価上昇が確認」との記載があり、米長期金利が再び上昇。21日のドル/ウォンは水準感から実需のドル買いが入り反発した。22日にはインフレ圧力に対する懸念から米長期金利は上昇したものの、為替市場の反応は食傷気味。結局、先週末対比5.3ウォン下落の1,177.1ウォンにてクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォン相場はやや上値の重い展開を予想する。引き続きFED高官からはインフレ圧力の長期化を懸念する発言が相次いでいるものの、全体的に好調な企業決算を背景に為替・株式市場のリスクセンチメントは総じて良好な印象だ。来週はECB会合や米3Q GDP一次速報があり、いずれもインフレによる影響が注目されるだろう。しかしながら今週は月末の実需のウォン買いも相応に期待できることから、ドル/ウォンは下値を切り下げる状況になるのではなかろうか。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1170 ~ 1190	10.25 ~ 10.45	112.7 ~ 114.7

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 26日(火) 米 9月 新築住宅販売件数 速報値
米 10月 カンファレンスボード消費者信頼感指数 確定値
韓 3Q GDP 速報値
- 27日(水) 米 9月 耐久財受注 速報値
- 28日(木) 米 3Q GDP 一次速報
日 BOJ 政策金利発表
欧 ECB 政策金利発表
- 29日(金) 米 10月 ミシガン消費者マインド指数 確報値
日 9月 鉱工業指数 速報値
米 9月 個人所得 速報値
米 9月 個人消費 速報値
日 9月 失業率 速報値
日 10月 東京都区内CPI 確定値
欧 3Q GDP 速報値

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。